



三鷹中央通信

2026年 Vol.41
冬号

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したリハビリを行います。
障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守るお世話をいたします。
明るく家庭的な雰囲気で、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

地域医療の第一線を担う病院であることを誇りにもち
いつでも どなたでも診療いたします。
常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、
事故のない病院をめざします。



日本医療機能評価機構
三鷹中央病院は、令和5年8月に日本医療機能評価機構3rdG: Ver.2.0の認定を受けました。

新年のご挨拶



医療法人社団 永寿会
社会福祉法人 正寛会
理事長 吉田 正一

明けましておめでとうございます。

昨年一年間、三鷹中央病院をはじめ永寿会と正寛会に対しまして、皆様方のご支援・ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

昨年の三鷹中央通信で、三鷹中央病院の井口グラウンドへの移転新築計画についてご説明させていたきましたが、計画が予定通りに運べば、今年3月には着工する予定でした。ところが、昨年10月に行つた工事の入札では1社の応札もなく不調に終わりました。今や首都圏の建設工事は、景気が良い大企業のビッグプロジェクトが目白押しの中、お金に渋い上に工事が複雑な病院の工事は人気が無く、後回しにされているようです。工事費の高騰も相変わらず収まる様子が無く、昨年の高市総理肝いりの医療機関支援の補正予算に加えて、本年の診療報酬の改定等でどのような支援策が決まるのかハラハラしながら見守っています。昨年末にも青森県東方沖で大きな地震がありましたし、地域の医療体制の充実のみならず、防災の観点から患者さんに安全で快適な医療環境を提供するために、一刻も早い病院の移転新築を達成したいと考えています。

末筆ながら、皆様方の今年1年間のご健勝とご活躍を祈念申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

そして、数年来の医薬品不足が、昨年も解消しませんでした。これまで、薬価を下げることで日本の医療費の2割を占める薬剤費を抑制して、診療報酬の引き上げ財源を捻出してきましたが、この結果製薬会社が製造意欲を失ったかの様に医薬品の安定供給に支障が続いています。安価で利益が望めない風邪薬などの製造は、国が請け負うよりないのでしょうか。そして、日本は医薬品原材料の相当数を中国とインドに依存していますが、中国との関係が益々こじれて中国が輸出規制でも始めたらもっと大変なことになります。この観点からも、冷え込む日中関係の1日も早い改善を待ちたいところです。

2023年5月に新型コロナ感染症が5類感染症

へと移行してから、2年8ヶ月が経過しました。しかし、移行後も夏と冬に流行の波が来ており、インフルエンザより10倍以上死亡率が高く、インフルエンザにはない厄介な後遺症が生じることも変わりありません。コロナ禍はクマ禍に変わった等と軽口をたたかれたりもしていますが、コロナ禍は未だに終息しておらず、現在も1日100人程が新型コロナ感染症で亡くなっています。決してただの風邪になつた訳ではありませんので、通常の感染対策に加えて寒い季節ですが換気の励行も忘れないようにしていただきたいと思います。

本年も永寿会と正寛会は、皆様方のご支援・ご協力をいただきながら地域の医療と介護に貢献してまいる所存です。

新任医師の紹介

2025年10月より、三鷹中央病院の麻酔科に着任いたしました田中園美です。

私は、これまで18年間、主に東京科学大学病院（旧：東京医科歯科大学病院）や武蔵野赤十字病院で、手術麻酔管理を中心に研鑽を積んでまいりました。

多くの手術は痛みと大きなストレスを伴いますが、できるだけ痛みを感じないように、またストレスから患者様の体を守ることが麻酔の役割です。そして麻酔科医は、手術中だけではなく、手術前後の患者様の全身状態を良好に維持するために、細心の注意を払いながら診療を行うことを専門としています。そのために私が大



麻酔科 田中 園美

切にしていることは「術前診察」です。

手術前にお時間をいただき、持病や現在の体調を正確に把握し、不安や疑問をじっくりお伺いすることで、患者様1人ひとりに最適な麻酔計画を立て、安心して、安全な手術に臨めるよう努めています。

そして、手術医療は多職種が連携するチーム医療の最前線です。執刀医、看護師、麻酔科医で積極的にコミュニケーションをはかり、それぞれの専門性を最大限に発揮できるよう、チームの一員として貢献していきたいと思います。

1日も早く当院の環境に慣れ、皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

三鷹中央リハケアセンター 副施設長就任のご挨拶



三鷹中央リハケアセンター副施設長
森 礼子

令和7年6月16日に三鷹中央リハケアセンターの副施設長に就任いたしました。

どうぞ宜しくお願い致します。

平成17年に開設され、20年という年月をかけ成長してまいりました三鷹中央リハケアセンターは、リハビリをしっかり行える老健としてリハビリに特化した施設です。

「地域とのつながりを持った在宅支援施設」を目指しており、入所時はもちろん退所後のデイケアや訪問看護・リハビリを含めて「生活の機能」の向上を考えて連携が取れるように各部

署ではカンファレンスの場を大切にしていきたいと考えます。

また、老人保健施設の使命としての地域貢献にも取り組み、地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っております。三鷹中央リハケアセンターの運営理念にもあります

「明るく家庭的な雰囲気で、地域や家族との結びつきを重視した運営」を目指し、ご利用者様にとってもご家族様にとりましても明るい施設づくりをお約束していきます。

その為にも明るく楽しい職場づくりの大切さを感じております。これからも明るく楽しい施設でありますよう日々努力してまいりますので宜しくお願い致します。



◎三鷹中央病院

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel：0422-44-6161(代) Fax：0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科：内科・循環器内科・内分泌科・呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科・
外科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・脳神経外科・整形外科・
皮膚科・泌尿器科・眼科・血液内科・神経内科・乳腺外科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

人間ドック・特定検診・禁煙指導

診療時間：月～土曜日 /am9:00～12:00 pm2:00～5:00
(救急外来は24時間受付)

病床数：急性期一般 1:75床、地域包括医療：29床、地域包括ケア：18床

関連施設：ふれあい診療所 Tel：0422-79-1313

三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel：0422-48-6031

ふれあいデンタルクリニック Tel：0422-29-8242



◎三鷹中央リハケアセンター

住所：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7

Tel：0422-70-0700(代) Fax：0422-70-0701

☆心のこもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数：100床(一般療養 100床)

4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備：機能訓練室(207.00m²) 機械浴室(男女別) 自立浴室

関連施設：通所リハビリテーション(定員60人) Tel：0422-70-0700

訪問看護ステーション Tel：0422-70-1055

居宅介護支援事業所 Tel：0422-70-1066

◎ケアコート武藏野

住所：〒180-0023 東京都武藏野市境南町5-10-7

Tel：0422-39-0390(代) Fax：0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

入所数：80床(9ユニット)

事業内容：特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)

短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴：○全室個室のユニットケアを実施します。

○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にした
サービスの提供に努めます。



ACCESS



三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ②「新小金井駅」行
- ②「武藏境営業所」行
- ②「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分
○タクシー(1区間)

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線 吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

京王線 仙川駅(北口)

- 小田急バス ①「三鷹駅」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武藏野

JR中央線 武藏境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
- ④「吉祥寺駅」行

『井口新田』下車徒歩1分